

凌霜

りょうそう

郡上市の教育理念

【凌霜の心で拓く明日の郡上市】

「凌霜の心」＝高い志と不屈の精神・感謝の心

郡上市中学生

下川交流活動

北海道上川郡下川町と 郡上市とのつながり



北海道の北部に位置する下川町は、面積約664km²、その約90%が森林の山間地です。夏の気温は30℃以上、冬はマイナス30℃以下、年間の寒暖差が60℃にもなる地域です。

古くから林業・林産業で栄えた町で、現在は、森林を育て・伐採し・植林してまた育てる「循環型森林経営」を行うこと

もに、木材だけでなく端材や炭、未利用材を活用したバイオマス発電など、森の恵みのすべてを利用したまちづくりを行っています。

下川町は「スキージャンプの聖地」としても有名です。オリンピックの葛西紀明選手や伊藤有希選手、ミラノ・コルティナ五輪で3つのメダルを獲得した二階堂蓮選手など、下川町で技術を磨いた選手が多くいます。

郡上市と下川町とのつながりの歴史は、今から120年以上前にさかのぼります。

明治時代に政府が中心となって「北海道の開拓」が行われました。当時未開発だった北海道の土地や資源を活用するため、本州から多くの移住者を募り、農業や都市づくりが行われました。

明治34年4月に、現在の下川町上名寄に、高鷲村から24戸51名が入植され、これが下川町の開拓年となっています。その後北濃村から26名が入植される

など、開拓に貢献されました。

現在、その子孫である方々が下川町に多く暮らし、今なお高鷲を「母村（ぼそん）」と呼び、ルーツを大切にされています。

郡上市中学生

下川交流活動

このような下川町とのつながり（地縁・血縁）を、自分たちの先祖の足跡をたどりながら次世代を担う中学生が学ぶこと、また、ふるさとの未来を考えることをねらい、「郡上市中学生下川交流活動」を実施します。

市内の中学生に公募し、選考した10名が、8月19日～22日までの4日間、下川町を訪問します。

下川交流活動では、下川小学校児童や下川中学校生徒との交流のほか、郡上おどりを通して、上名寄伝統芸能保存会や下川町の方々との交流を行う予定です。また、下川産木質バイオマス（燃料チップ）を活用した

森林再生エネルギー施設「バイオビレッジ」や関連施設の見学など、持続型森林経営やエネルギー自給といった未来のまちづくりの在り方を学ぶことも計画しています。

本交流に向け、参加生徒は事前研修（3回）を行い、歴史や文化、人々の思いを学びます。また、事後研修、各校での報告会、市での報告会を実施していきます。

【事前研修内容】

- 郡上市の現状を学ぶ研修
- 郡上おどり研修
- 開拓の歴史を学ぶ研修

【事後研修・報告会】

○交流活動での学びをまとめ、各校の生徒や市民のみなさんに報告します。

下川町での交流や体験から、あらためて郡上市のよさや自身の生き方を見つめる機会となればと考えます。

参加する中学生の各学校での報告などにより、多くの人が郡上に生まれたことを誇りに思い、また未来づくりの視点を得る場としていきます。本交流活動を通して、将来の郡上や日本

を支える担い手を育成していきます。



令和7年度 下川町夏祭りの様子
下川の地でも郡上おどり「春駒」が親しまれています。
提供：下川町教育委員会

問 学校教育課

67・14668

